

事業実績報告書

様式2
(2018年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-22	講座名	食×国際交流！世界の料理を通じて環境を学ぼう
記載日	2018/9/15	団体名・企業名	ノートルモンド名古屋
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>名古屋で社会人として暮らしている元留学生から、母国の料理を直接学びました。料理というツールを通して体験しながら文化や母国の環境を聞き、子供たちと一緒に参加した家族、市民の印象に深く残ることを目的として開催しました。また、環境を意識して育つことにより、そしてグローバルな視点を持ち、自然にも人にも優しく育つ人材育成を狙いました。今回は中華人民共和国・アメリカ合衆国から名古屋に勉強に来て就職した元留学生を講師にお迎えし行いました。挨拶のことばも覚えながら家庭料理を教えていただきました。</p>			
〈写真添付スペース(1~2点)〉			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
8/4緑生涯学習センター、中国講座の授業風景。		8/19創庫88、アメリカ合衆国講座の授業風景。	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>代表者が7年前より行ってきた料理のサークル、代表者自身が持つ様々な食に関する資格と経験、国際留学生会館イベントボランティアをはじめとする国際交流、4年間取り組んできた育児支援団体での企画運営力、そしてフランスに家族と暮らした経験を生かして、食と国際文化交流のコミュニティを2015年11月1日に立ち上げました。行ったことがない国の文化を料理を通じて知ることによって、各国それぞれの豊かな自然についてや大気汚染、土壌汚染、水の問題を聞くことによって日本との違いに気づきエコ意識が高まったと思います。国によって環境が様々であることを子供のうちから知ることによって、育つきっかけとなりました。また、留学生たちは講師として務め母国を紹介する喜びと得ると同時に、責任感と持って仕事をすることができました。次回(2018年後期)は、中国(朝鮮族出身)とスリランカですので、引き続き良い講座にします。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<p>・初めて知ることがたくさんあって面白かったです。 ・屋外での炭熾し等、一般的な料理教室と違って楽しかった。 ・BBQとは何かがよくわかった。 ・環境問題というと難しい印象だけど、難しく気構えなくて良い身近なものなんだということがわかりました。 ・はじめてサムゲタンを作りました。食べたのも初めてでした。とりにくの皮を切るのも初めてやりました。 ・なぜBBQができたのか、歴史がよくわかった。桜チップと炭だけでCO2の排出量も少なく、水を使わないので、環境にも大変優しいということがわかった。</p>			